

本所地域プラザ指定管理者応募事業者概要

	事業者名	一般社団法人 地域プラザBIGSHIP
1 利用者サービスの向上	(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則先着順の予約受付</li> <li>・館内及びホームページによる空き状況の掲載</li> <li>・希望が重なった場合はくじにより決定（予約開始日）</li> </ul>
	(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションコーナーへの「子ども広場」の設置による利用者交流</li> <li>・様々な世代の利用者の交流の拠点として、カフェ（自主事業）の実施</li> <li>・学び合い体験室を利用した理科の実験、屋上を利用した養蜂など、多様な分野の学び・体験ができる事業の実施</li> <li>・多目的ホールを利用した文化の発信</li> </ul>
	(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の実験、発酵食品作りなどのプログラムの実施</li> <li>・週1回カウンセラー（臨床心理士）配置による子育ての相談環境の整備</li> <li>・トレーニングルームでのトレーナーの常駐</li> <li>・人・自然・生き物の関わりを学ぶための養蜂の実施</li> </ul>
	(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見箱の設置</li> <li>・年1回以上の利用者アンケートの実施による事業運営の改善</li> </ul>
	(5) 墨田区が掲げる協治（ガバナンス）の考え方を生かした提案となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、行政、関係団体との連携による取組</li> <li>（例：BIGSHIPまつり、食育イベント、高齢者向けの講座）</li> <li>・利用者の声・利用者のニーズを敏感に察知した事業展開</li> </ul>
	(6) 地域コミュニティの活動が活性化されるような独自の提案があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流事業「みんなでランチ&amp;コンサート」、「親子でランチ&amp;シネマの会」、「カフェ」</li> <li>・心身を向上させる事業「転ばないからだづくり」、「0歳からのリトミック教室」</li> <li>・文化発表の場の提供「BIGSHIPまつり」</li> </ul>
2 効率的・効果的な施設の運営	(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の持つ地域力とエネルギーで、コミュニティの形成を図り、地域と行政の連携による取組を行い、周辺地域の活性化を図る。</li> <li>・3つの理念「人と人をつなぐ」「心とからだを元気にする」「文化を発信する」をもとに、利用者の方々とも思いを共有し合いながら業務に取り組み、利用者満足度の高い事業展開を目指す。</li> </ul>
	(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安価・良質な商品・サービスの選定</li> <li>・複数の物品、事業者との比較考量</li> </ul>
	(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	指定管理料 58,183,000円
	(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内業者の活用</li> <li>・積極的な区民雇用</li> </ul>
	(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用率60%目標</li> <li>・定期的な接遇マニュアルの確認と外部講師の研修による接遇スキルの向上</li> <li>・意見・要望等への対応を館内に掲示</li> <li>・修繕時には階層のテーマに沿った壁の塗り分け</li> <li>・利用者の声を反映させた施設環境の整備</li> <li>・サークルの活動予定表の作成による継続利用の促進</li> <li>・館内及びホームページによる空き状況の掲載</li> </ul>
3 事業計画の遂行能力	(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間で目標としていた利用率を達成したことによる安定した運営実績</li> <li>・新規利用者の確保・継続的な利用の促進による採算性の担保</li> </ul>
	(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長1名、副館長1名、受付3名、広報・経理・総務3名、施設管理5名</li> <li>・受付担当に専門のスタッフの配置</li> <li>・受付、総務、管理に各1名増員</li> <li>・地域在住の豊富な経験をもつ人材の雇用による継続的な運営</li> <li>・理事会・拡大会議・スタッフ会議による情報共有</li> </ul>
	(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有資格者の配置（食品衛生管理者3名・公認スポーツ指導士2名）</li> <li>・理念研修・事務研修・危機管理研修・個人情報保護研修の実施</li> <li>・外部講師による接遇研修の実施</li> </ul>
	(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルの整備</li> <li>・必要最低限度の個人情報の収集・個人情報リストによる適正管理</li> <li>・個人情報の施設設備のある保管庫への保存</li> <li>・パソコンのID・パスワードの設定及び施錠</li> </ul>
	(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛消防隊訓練の実施、地域への防災訓練への参加</li> <li>・職員の巡回による事故・犯罪の防止</li> <li>・帰宅困難者への対応のための最低限の食料等の備蓄</li> <li>・利用者との日常のコミュニケーションによる苦情発生の防止</li> <li>・苦情に対する迅速な対応・スタッフ間での内容の共有による再発防止</li> </ul>